

本太中だより

第1号

さいたま市立本太中学校

048(886)4305

<http://motobuto-j.saitama-city.ed.jp>

E-mail motobuto-j@saitama-city.ed.jp

令和8年4月8日

未来へ、よりよく生きる

希望を語り、一人ひとりのウェルビーイングを実現する学校を目指して

校長 田中 一秀

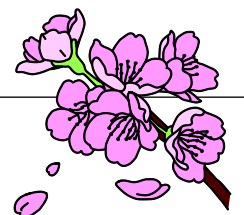
子どもたちの入学、進級を祝うかのように、色とりどりの花が咲き誇っています。生徒の皆さん、入学、進級おめでとうございます。また、保護者の皆様には、お子様の御入学、御進級、心よりお祝い申し上げます。令和8年度が始まりました。この一年、本校に関わるすべての方々が築き上げてこられた伝統を大切にしながら、本校教育のさらなる発展に向け、精一杯取り組んでまいります。職員一同、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、本校の学校教育目標は「未来へ、よりよく生きる」です。それを受け、今年度、目指す学校像を「一人ひとりのウェルビーイングを実現する学校」といたしました。ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的に、すべてが満たされた状態を表す考え方です。私は、「よりよく生きる」とは、「自分らしく生き、幸せを実感できること」と考えています。人は誰も、自分らしく生きたい、自由でありたいという思いを、本質的に持っています。しかし、その自由を求める過程で、人は争いを繰り返してきました。誰かの何かを奪うため、あるいは、憎しみから生まれた争いもあります。そして、何かを奪われたら奪い返したいと思い、憎しみからは新たな憎しみを生み続けてきました。これでは、みんなが幸せになることはできません。自分が生きたいように自由に生き、幸せになるためには、まずお互いを自由な存在として認め合うことが大切です。私は、生徒一人ひとりが自分らしく生き、幸せになるために、「自分が大切にしていること、好きなことは、何があっても手放さないでほしい」として同時に、「他の人が大切にしていること、好きなことを、決して否定したり、奪ったりしないでほしい」ということを、日々の教育活動を通して伝え続けていきたいと考えています。

「希望を語る人は、常に希望を語り、不満を言う人は、不満ばかりに目が向く」と言われます。私は、この言葉が、決して「前向きでいなさい」や「不満や愚痴を言うてはいけない」という意味だとは思っていません。私たち人間は、同じ出来事に出会っても、「まだできることがある」「次はうまくいく」と受け取る人もいれば、「どうせ無理だ」「やっても意味がない」と受け取る人もいます。現実が違うのではなく、どこに意識を向けているかが違うのです。思春期の子どもたちは、自信を失いやすく、周囲と比べて落ち込みやすく、小さな失敗をととても大きく感じてしまいがちです。子どもは「未来からの留学生」です。希望を語ることは、大人が子どもの可能性を信じているというメッセージであり、子どもが「自分にはまだ伸びる力がある」「自分は見てもらえている」と感じるにつながります。今年度、皆さんと希望を語り合える一年にしていきたいと思えます。

結びになりますが、別掲のとおり教職員の異動がございました。これまでお世話になりました教職員に対しまして、心より感謝申し上げますとともに、新たに着任した教職員に対しましても、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本年度も、どうぞよろしくお願いいたします。



学校教育目標 「未来へ、よりよく生きる」

目指す学校像 ○一人ひとりのウェルビーイングを実現する学校

☆ウェルビーイングを実現するための力

・自ら動く ・自己と他者を尊重する ・新しい何かを創り出す

目指す生徒像 ○主体的に活動する生徒 ○他者の自由を認め、尊重できる生徒 ○意欲的に学ぶ生徒